ご 挨 拶

令和３年度シニアサークル「男の囲炉裏端」の会、第９回定期総会の開催に当たり役員を代表しまして、ご挨拶を申し上げます。

私と内田さんが会を立ち上げて早いもので９年が経ちました。会運営の土台となる経験は 50 歳から津市一身田にある通信制の大学、放送大学でのサークル運営に携わったことです。定年で辞めるまでの 13 年間とても刺激的で楽しい学生生活でした。そこで今でも学生の言葉が耳に残っています「ここはいいよね、上下関係がないから」でした。63 歳で会社を定年で辞めて１年間、地区市民センターの文化部に所属をして行政とはどういうものか勉強をしました。その中での感想は、総て前例主義という事でした。文化部は１年で辞めました。2012 年の１月に男の料理教室を立ち上げ、同年４月に男の囲炉裏端の会を順次立ち上げました。考え方の基本となるのは男性の定年後の過ごし方で困って見える人（引きこもり）へのお手伝い、或いはお役に立てないかという事です。当時こんなことを耳にしました、町内の男性で定年後の方が生活の激しい変化に付いて行けず引きこもってしまって奥さんに八つ当たりをして困っているという事を聞いたことがあります。とにもかくにも家から出て参加して頂き料理教室や３分間スピーチを実践して楽しく定年後を過ごしてもらうという事を考えたわけです。前段でご理解いただけたと思いますが、市民活動団体というのは自治会（町内の事に限る）や行政（すべての市民に平等主義）ではできない事を迅速にやるのがその大きな特徴です。なので、自治会のやり方とは違います。むしろ自治会のやり方は市民活動では通用しないといった方がいいでしょう。加えて言えるのは定年前に（50 歳からの 10 年間の過ごし方自分の成長期）今までの利益追求主義から自分磨きにシフトすることが肝要かと思います。これからも社会貢献活動、生涯学習推進活動、ボランティア活動を皆様とともに進めていきたいと考えています。ご賛同を頂き、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ではこの後、昨年度の活動事業報告、決算報告、そして今年度の事業計画や予算などの審議をお願い致します。尚、本日は定期総会であるため、事前に手続きを得た事項のみの審議であることをご理解ください。よろしくお願い致します。
簡単ではございますが私のご挨拶とさせていただきます。

令和３年５月６日

シニアサークル「男の囲炉裏端」の会　代表　志田　米蔵